

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2023年3月7日まで（2013年5月28日設定）	
運用方針	次世代米国代表株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託者が判断した企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビード ファンド	次世代米国代表株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザー ファンド	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード ファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザー ファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

次世代米国代表株ファンド

愛称：メジャー・リーダー

第12期（決算日：2016年6月7日）
 第13期（決算日：2016年9月7日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「次世代米国代表株ファンド（愛称：メジャー・リーダー）」は、去る9月7日に第13期の決算を行いましたので、法令に基づいて第12期～第13期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

次世代米国代表株ファンドのご報告

◇最近10期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	10
◇株式売買比率	10
◇利害関係人との取引状況等	10
◇組入資産の明細	11
◇投資信託財産の構成	11
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	12
◇損益の状況	13
◇お知らせ	14

マザーファンドのご報告

◇次世代米国代表株マザーファンド	15
------------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) ダウ・ジョーンズ工業株価平均		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配	み 期騰 落	中 騰 落	中 騰 落			
	円	円	%	(円換算ベース)	%	%	%	百万円
4期(2014年6月9日)	10,760	0	2.0	11,020	2.5	97.2	—	16,038
5期(2014年9月8日)	10,187	1,100	4.9	11,434	3.8	90.9	—	12,777
6期(2014年12月8日)	10,354	1,600	17.3	13,862	21.2	87.3	—	19,421
7期(2015年3月9日)	10,146	450	2.3	13,688	△ 1.3	92.6	—	44,156
8期(2015年6月8日)	10,122	500	4.7	14,220	3.9	94.6	—	52,231
9期(2015年9月7日)	8,927	0	△11.8	12,172	△14.4	96.0	—	55,202
10期(2015年12月7日)	10,107	100	14.3	13,964	14.7	96.0	—	60,422
11期(2016年3月7日)	8,637	0	△14.5	12,276	△12.1	95.5	—	54,905
12期(2016年6月7日)	8,539	0	△ 1.1	12,217	△ 0.5	96.2	—	53,279
13期(2016年9月7日)	8,288	0	△ 2.9	11,930	△ 2.3	96.9	—	50,357

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ工業株30種)とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY(ニューヨーク)ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		(参 考 指 数) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
			騰 落 率		騰 落 率		
第12期	(期 首) 2016年3月7日	円 8,637	% —	12,276	% —	% 95.5	% —
	3月末	8,795	1.8	12,674	3.2	95.7	—
	4月末	8,712	0.9	12,571	2.4	96.0	—
	5月末	8,773	1.6	12,588	2.5	96.5	—
	(期 末) 2016年6月7日	8,539	△1.1	12,217	△0.5	96.2	—
第13期	(期 首) 2016年6月7日	8,539	—	12,217	—	96.2	—
	6月末	7,945	△7.0	11,561	△5.4	96.1	—
	7月末	8,440	△1.2	12,235	0.2	96.2	—
	8月末	8,406	△1.6	12,088	△1.0	96.8	—
	(期 末) 2016年9月7日	8,288	△2.9	11,930	△2.3	96.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

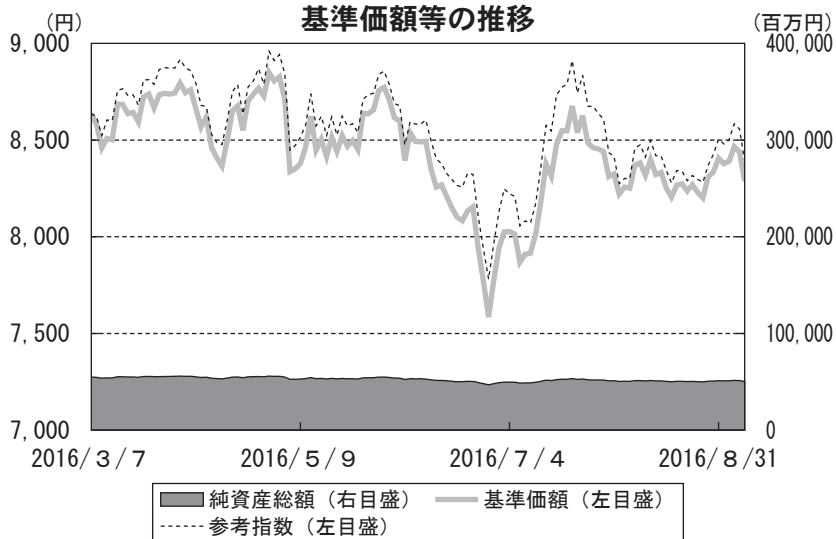
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について (第12期～第13期：2016/3/8～2016/9/7)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ4.0%の下落となりました。



基準価額の主な変動要因

下落要因

米国株式市況全体は上昇となったものの、一部の組入銘柄の値下がり、為替が円高・ドル安に振れたことなどが、基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

(第12期～第13期：2016/3/8～2016/9/7)

◎米国株式市況

- ・ 当作成期首以降、市況は原油価格の反発、米国景気の底堅さ、各国の中央銀行より景気減速回避に向けての対策が打ち出されたことにより、戻り基調となりました。2016年6月の英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱支持が上回ったことによる混乱も一時的なものにとどまりました。
- ・ 企業業績についても、7月以降は今後の業績予想に大きな下方修正がなかったことが業績の先行きへの安心感につながり、市況の下支え要因となりました。

◎為替市況

- ・ 当作成期首に比べ、対ドルで10.8%の円高・ドル安となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<次世代米国代表株ファンド>

- ・ 当ファンドは、次世代米国代表株マザーファンド受益証券（以下、マザーファンド）を通じて米国株式に投資を行いました。

<次世代米国代表株マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ3.3%の下落となりました。

- ・ 米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、30銘柄程度に投資を行いました。
- ・ 当作成期間では、金融業種における生命保険大手「METLIFE INC」からデリバティブ取引所運営を行う「CME GROUP INC」への入れ替えを行いました。
- ・ また保有銘柄であった「DANAHER CORP」（資本財・サービス）が、「FORTIVE CORP」（資本財関連事業）と「DANAHER CORP」（ヘルスケア関連事業）の2社に分社化を行いました。ファンドにおいては、「DANAHER CORP」の売却を行い、「FORTIVE CORP」を保有することにしました。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎新規組入銘柄

- ・「CME GROUP INC」：市場の変動性が増加する中、投資家からのデリバティブ取引への需要が拡大するものと予想し、組み入れました。

◎売却銘柄

- ・「METLIFE INC」：世界的な低金利環境を背景に投資収益が伸び悩み、高い利益成長が期待しがたいとの判断の下、売却を行いました。

以上のような投資判断を行いました。組入銘柄の株価下落、また、為替が円高・ドル安に振れたことなどにより、基準価額は下落となりました。パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

◎銘柄

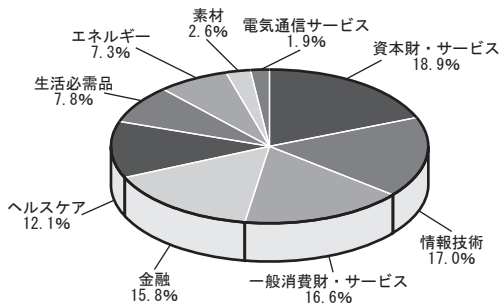
- ・「AMAZON.COM INC」：主力事業であるオンラインを通じた自社商品の販売に加え、Amazonプライムの会費収入、他社商品の販売、配送業務の受託などの事業の多角化から増収増益が期待できると判断し、組み入れを行いました。事業が順調に拡大し、株価が上昇しました。
- ・「FORTIVE CORP」：製造現場をサポートするセンサーなどのハードウェア、ロボットを用いた自動化システムのソフトウェア、さらにはその両面を組み合わせた統合的な管理システム構築などの事業が高い成長力を有すると判断し、組み入れを行いました。保有する技術が投資家の評価するところとなり、株価が上昇しました。

（マイナス要因）

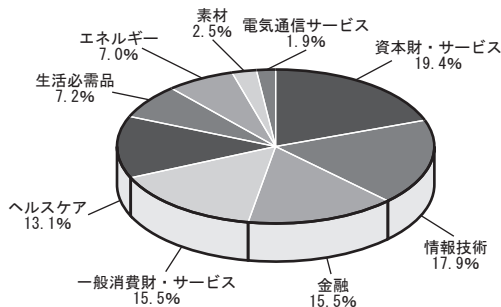
◎銘柄

- ・「NIKE INC - CL B」：世界屈指のブランドを有する企業であり、中間層の増加を背景に着実に顧客層が広がると判断し、組み入れを行いました。同社製品の週次売上に伸び悩みがみられたことから競合懸念が台頭、株価が下落しました。
- ・「WALT DISNEY CO/THE」：テーマパーク、メディア・ネットワーク、映画製作などの多様な事業におけるコンテンツの価値から業績拡大が見込めると判断し、組み入れを行いました。メディア・ネットワークの加入者減少の懸念などから、株価は振るわないものとなりました。

(ご参考)
業種別構成比
作成期首 (2016年 3月 7日)



作成期末 (2016年 9月 7日)

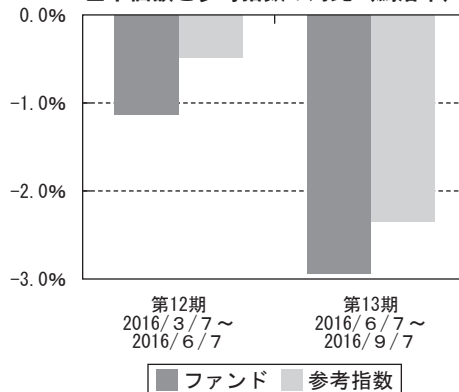


(注) 比率は現物株式評価額に対する割合です。
(注) 業種はG I C S (世界産業分類基準) で分類しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について (第12期～第13期: 2016/3/8～2016/9/7)

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド(ベビーファンド)の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)です。

基準価額と参考指数の対比(騰落率)



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第12期	第13期
	2016年3月8日～2016年6月7日	2016年6月8日～2016年9月7日
当期分配金	—	—
（対基準価額比率）	—%	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	71	71

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<次世代米国代表株ファンド>

◎今後の運用方針

- ・マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

<次世代米国代表株マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・米国景気は、緩やかなペースながら着実な回復基調にあると判断しています。雇用関連の指標が好調なことに加え、住宅、小売関連の指標も概ね底堅いものとなっており、景気回復傾向が確認できます。追加利上げの時期については不透明感が強いものの、2016年8月下旬のジャクソンホール講演でのイエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長の発言、あるいはこれと前後する時期での各地区連銀総裁の発言からも、FRBが景気回復についての確信を深めており、追加利上げに傾いていることがうかがわれます。
- ・今後は景気好転下でより積極的な投資を行い収益拡大が期待できる成長株が選好されるものと予想しています。S & P 500指数採用企業のEPS（1株当たり利益）は、来年度2ケタ増益となり過去最高益を更新するものと予想されていますが、当ファンドの組入銘柄は、単なる景気回復のみならず、今後の経済環境、社会構造の変化にも対応しており、中長期的な潜在成長力を有しています。今後予想される市況環境は、ファンドにとって追い風となると考えます。

◎今後の運用方針

- ・大きな変化が起こっている分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。現在は、インターネット、バイオ、さらには環境などの分野の重要性の高まり、同分野での新しい企業の台頭に注目しています。同時に、絶え間ない自己革新により、環境変化に対応し続けている伝統的な老舗企業にも目を向け、より高い投資成果の達成をめざします。このところのドル高、海外景気の減速が米国企業に与える影響を懸念する向きもありますが、運用においてはこのような環境下においても成長を達成し得るだけの潜在力を持った次世代企業の発掘に努める所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年3月8日～2016年9月7日)

項 目	第12期～第13期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 67	% 0.784	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(32)	(0.376)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(32)	(0.381)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.055	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（ 株 式 ）	(5)	(0.055)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	1	0.007	(d) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.005)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	73	0.847	
作成期中の平均基準価額は、8,511円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月8日～2016年9月7日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第12期～第13期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
次世代米国代表株マザーファンド	—	—	1,890,293	2,632,000

○株式売買比率

(2016年3月8日～2016年9月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第12期～第13期	
	次世代米国代表株マザーファンド	
(a) 当作成期中の株式売買金額	23,624,083千円	
(b) 当作成期中の平均組入株式時価総額	50,946,762千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.46	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月8日～2016年9月7日)

利害関係人との取引状況

<次世代米国代表株ファンド>

該当事項はございません。

<次世代米国代表株マザーファンド>

区 分	第12期～第13期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	10,999	1,461	13.3	12,624	904	7.2
為替直物取引	—	—	—	1,701	618	36.3

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	第12期～第13期
売買委託手数料総額 (A)	29,396千円
うち利害関係人への支払額 (B)	3,075千円
(B) / (A)	10.5%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2016年9月7日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第11期末	第13期末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
次世代米国代表株マザーファンド	38,645,751	36,755,457	50,340,274

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年9月7日現在)

項 目	第13期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
次世代米国代表株マザーファンド	50,340,274	99.5
コール・ローン等、その他	255,973	0.5
投資信託財産総額	50,596,247	100.0

(注) 次世代米国代表株マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産 (49,840,183千円) の投資信託財産総額 (50,338,630千円) に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=101.37円			
------------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第12期末	第13期末
	2016年6月7日現在	2016年9月7日現在
	円	円
(A) 資産	53,605,556,136	50,596,247,030
コール・ローン等	478,311,143	255,972,152
次世代米国代表株マザーファンド(評価額)	53,127,244,993	50,340,274,878
(B) 負債	325,899,780	238,802,225
未払解約金	111,001,024	37,661,348
未払信託報酬	214,409,687	200,683,826
未払利息	758	356
その他未払費用	488,311	456,695
(C) 純資産総額(A-B)	53,279,656,356	50,357,444,805
元本	62,397,066,013	60,761,888,470
次期繰越損益金	△ 9,117,409,657	△10,404,443,665
(D) 受益権総口数	62,397,066,013口	60,761,888,470口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,539円	8,288円

○損益の状況

項 目	第12期	第13期
	2016年3月8日～ 2016年6月7日	2016年6月8日～ 2016年9月7日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 33,019	△ 38,282
受取利息	301	402
支払利息	△ 33,320	△ 38,684
(B) 有価証券売買損益	△ 397,004,184	△ 1,282,193,483
売買益	26,518,468	85,510,434
売買損	△ 423,522,652	△ 1,367,703,917
(C) 信託報酬等	△ 214,897,998	△ 201,140,521
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 611,935,201	△ 1,483,372,286
(E) 前期繰越損益金	△8,064,880,056	△ 8,225,621,195
(F) 追加信託差損益金	△ 440,594,400	△ 695,450,184
(配当等相当額)	(72,286,243)	(81,270,134)
(売買損益相当額)	(△ 512,880,643)	(△ 776,720,318)
(G) 計(D+E+F)	△9,117,409,657	△10,404,443,665
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(G+H)	△9,117,409,657	△10,404,443,665
追加信託差損益金	△ 440,594,400	△ 695,450,184
(配当等相当額)	(73,578,551)	(82,588,003)
(売買損益相当額)	(△ 514,172,951)	(△ 778,038,187)
分配準備積立金	372,963,115	353,569,048
繰越損益金	△9,049,778,372	△10,062,562,529

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首(前作成期末)元本額 63,569,969,847円
作成期中追加設定元本額 3,249,760,255円
作成期中一部解約元本額 6,057,841,632円
また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8288円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は10,404,443,665円です。

③分配金の計算過程

項 目	2016年3月8日～ 2016年6月7日	2016年6月8日～ 2016年9月7日
費用控除後の配当等収益額	－円	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円
収益調整金額	73,578,551円	82,588,003円
分配準備積立金額	372,963,115円	353,569,048円
当ファンドの分配対象収益額	446,541,666円	436,157,051円
1万口当たり収益分配対象額	71円	71円
1万口当たり分配金額	－円	－円
収益分配金金額	－円	－円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

次世代米国代表株マザーファンド

《第7期》決算日2016年9月7日

〔計算期間：2016年3月8日～2016年9月7日〕

「次世代米国代表株マザーファンド」は、9月7日に第7期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託者が判断した企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。株式への投資にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、30銘柄程度に投資を行います。株式の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	米国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参 考 指 数) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
3期(2014年9月8日)	12,780	7.9	11,434	6.4	82.3	—	14,126
4期(2015年3月9日)	15,465	21.0	13,688	19.7	89.3	—	45,790
5期(2015年9月7日)	14,385	△ 7.0	12,172	△11.1	96.2	—	55,070
6期(2016年3月7日)	14,165	△ 1.5	12,276	0.9	95.8	—	54,740
7期(2016年9月7日)	13,696	△ 3.3	11,930	△ 2.8	96.9	—	50,338

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ工業株30種)とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY(ニューヨーク)ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2016年3月7日	円 14,165	% —		% —	% 95.8	% —
3月末	14,439	1.9	12,674	3.2	95.8	—
4月末	14,321	1.1	12,571	2.4	96.4	—
5月末	14,441	1.9	12,588	2.5	96.6	—
6月末	13,091	△7.6	11,561	△5.8	96.4	—
7月末	13,925	△1.7	12,235	△0.3	96.8	—
8月末	13,888	△2.0	12,088	△1.5	97.0	—
(期 末) 2016年9月7日	13,696	△3.3	11,930	△2.8	96.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

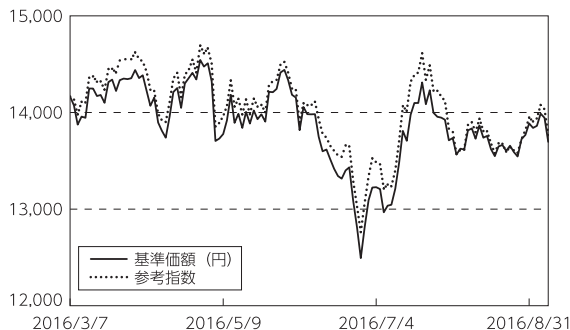
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.3%の下落となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎米国株式市況

- ・期首以降、市況は原油価格の反発、米国景気の底堅さ、各国の中央銀行より景気減速回避に向けての対策が打ち出されたことにより、戻り基調となりました。2016年6月の英国の国民投票でEU（欧州連合）離脱支持が上回ったことによる混乱も一時的なものにとどまりました。
- ・企業業績についても、7月以降は今後の業績予想に大きな下方修正がなかったことが業績の先行きへの安心感につながり、市況の下支え要因となりました。

◎為替市況

- ・期首に比べ、対ドルで10.8%の円高・ドル安となりました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、30銘柄程度に投資を行いました。
 - ・当期では、金融業種における生命保険大手「METLIFE INC」からデリバティブ取引所運営を行う「CME GROUP INC」への入れ替えを行いました。
 - ・また保有銘柄であった「DANAHER CORP」（資本財・サービス）が、「FORTIVE CORP」（資本財関連事業）と「DANAHER CORP」（ヘルスケア関連事業）の2社に分社化を行いました。ファンドにおいては、「DANAHER CORP」の売却を行い、「FORTIVE CORP」を保有することにしました。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎新規組入銘柄

- ・「CME GROUP INC」：市場の変動性が増加する中、投資家からのデリバティブ取引への需要が拡大するものと予想し、組み入れました。

◎売却銘柄

- ・「METLIFE INC」：世界的な低金利環境を背景に投資収益が伸び悩み、高い利益成長が期待しがたいとの判断の下、売却を行いました。

以上のような投資判断を行いました。組入銘柄の株価下落、また、為替が円高・ドル安に振れたことなどにより、基準価額は下落となりました。パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

◎銘柄

- ・「AMAZON.COM INC」：主力事業であるオンラインを通じた自社商品の販売に加え、Amazonプライムの会費収入、他社商品の販売、配送業務の受託などの事業の多角化から増収増益が期待できると判断し、組み入れを行いました。事業が順調に拡大し、株価が上昇しました。

- ・「FORTIVE CORP」：製造現場をサポートするセンサーなどのハードウェア、ロボットを用いた自動化システムのソフトウェア、さらにはその両面を組み合わせた統合的な管理システム構築などの事業が高い成長力を有すると判断し、組み入れを行いました。保有する技術が投資家の評価するところとなり、株価が上昇しました。

（マイナス要因）

◎銘柄

- ・「NIKE INC -CL B」：世界屈指のブランドを有する企業であり、中間層の増加を背景に着実に顧客層が広がると判断し、組み入れを行いました。同社製品の週次売上に伸び悩みがみられたことから競合懸念が台頭、株価が下落しました。
- ・「WALT DISNEY CO/THE」：テーマパーク、メディア・ネットワーク、映画製作などの多様な事業におけるコンテンツの価値から業績拡大が見込めると判断し、組み入れを行いました。メディア・ネットワークの加入者減少の懸念などから、株価は振るわないものとなりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・米国景気は、緩やかなペースながら着実な回復基調にあると判断しています。雇用関連の指標が好調なことに加え、住宅、小売関連の指標も概ね底堅いものとなっており、景気回復傾向が確認できます。追加利上げの時期については不透明感が強いものの、2016年8月下旬のジャクソンホール講演でのイエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長の発言、あるいはこれと前後する時期での各地区連銀総裁の発言からも、FRBが景気回復についての確信を深めており、追加利上げに傾いていることがうかがわれます。
- ・今後は景気好転下でより積極的な投資を行い収益拡大が期待できる成長株が選好されるものと予想しています。S & P 500 指数採用企業のEPS（1株当たり利益）は、来年度2ケタ増益となり過去最高益を更新するものと予想されていますが、当ファンドの組入銘柄は、単なる

景気回復のみならず、今後の経済環境、社会構造の変化にも対応しており、中長期的な潜在成長力を有しています。今後予想される市況環境は、ファンドにとって追い風となると考えます。

◎今後の運用方針

- ・大きな変化が起こっている分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。現在は、インターネット、バイオ、さらには環境などの分野の重要性の高まり、同分野での新しい企業の台頭に注目しています。同時に、絶え間ない自己革新により、環境変化に対応し続けている伝統的な老舗企業にも目を向け、より高い投資成果の達成をめざします。このところのドル高、海外景気の減速が米国企業に与える影響を懸念する向きもありますが、運用においてはこのような環境下においても成長を達成し得るだけの潜在力を持った次世代企業の発掘に努める所存です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年3月8日～2016年9月7日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 8 (8)	% 0.055 (0.055)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.005 (0.005) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	9	0.061	
期中の平均基準価額は、14,017円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月8日～2016年9月7日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 11,232 (840)	千アメリカドル 101,838 (-)	百株 15,931	千アメリカドル 117,218

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2016年3月8日～2016年9月7日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	23,501,520千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	50,946,762千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.46

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月8日～2016年9月7日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 10,944	百万円 1,461	% 13.3	百万円 12,557	百万円 904	% 7.2
為替直物取引	—	—	—	1,701	618	36.3

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	29,255千円
うち利害関係人への支払額 (B)	3,075千円
(B) / (A)	10.5%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○組入資産の明細

(2016年9月7日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期		期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
ACCENTURE PLC-CL A	901	1,026	11,841	1,200,393		ソフトウェア・サービス
BOEING CO/THE	2,455	2,325	30,920	3,134,391		資本財
BLACKROCK INC	503	468	17,420	1,765,879		各種金融
VERIZON COMMUNICATIONS INC	1,713	1,691	9,049	917,304		電気通信サービス
CVS HEALTH CORP	1,578	1,465	13,683	1,387,124		食品・生活必需品小売り
CME GROUP INC	—	1,672	18,013	1,826,069		各種金融
DANAHER CORP	1,772	—	—	—		ヘルスケア機器・サービス
DU PONT (E. I.) DE NEMOURS	1,897	1,729	12,054	1,222,012		素材
WALT DISNEY CO/THE	2,834	3,515	32,976	3,342,819		メディア
GENERAL ELECTRIC CO	3,110	4,621	14,348	1,454,524		資本財
HALLIBURTON CO	4,408	2,269	9,925	1,006,146		エネルギー
3M CO	1,825	1,859	33,554	3,401,388		資本財
METLIFE INC	2,832	—	—	—		保険
MOODY'S CORP	2,072	1,387	15,269	1,547,867		各種金融
PROCTER & GAMBLE CO/THE	794	826	7,326	742,691		家庭用品・パーソナル用品
SCHLUMBERGER LTD	2,459	2,989	23,549	2,387,233		エネルギー
TRAVELERS COS INC/THE	2,243	2,001	23,874	2,420,178		保険
UNITED TECHNOLOGIES CORP	250	454	4,818	488,427		資本財
COSTCO WHOLESALE CORP	896	857	13,547	1,373,292		食品・生活必需品小売り
NIKE INC -CL B	4,472	2,083	11,960	1,212,419		耐久消費財・アパレル
STARBUCKS CORP	1,541	1,248	6,996	709,230		消費者サービス
GILEAD SCIENCES INC	1,552	2,087	16,255	1,647,772		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
AMAZON.COM INC	209	285	22,499	2,280,760		小売
BIOGEN INC	243	367	11,410	1,156,723		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CELGENE CORP	1,699	1,882	20,089	2,036,444		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
APPLE INC	1,129	1,131	12,183	1,234,993		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MASTERCARD INC-CLASS A	1,038	1,033	10,205	1,034,481		ソフトウェア・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	2,181	2,125	17,539	1,777,989		ソフトウェア・サービス
REGENERON PHARMACEUTICALS	460	387	15,414	1,562,577		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
FACEBOOK INC-A	1,502	988	12,819	1,299,489		ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL C	222	279	21,786	2,208,454		ソフトウェア・サービス
FORTIVE CORP	—	1,883	9,929	1,006,535		資本財
合 計	株 数 ・ 金 額	50,800	46,942	481,262	48,785,618	
	銘柄数 < 比率 >	30	30	—	< 96.9% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2016年9月7日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 48,785,618	% 96.9
コール・ローン等、その他	1,553,012	3.1
投資信託財産総額	50,338,630	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(49,840,183千円)の投資信託財産総額(50,338,630千円)に対する比率は99.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=101.37円		
-----------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年9月7日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	50,649,806,145 円
コール・ローン等	1,487,512,974
株式(評価額)	48,785,618,382
未収入金	311,512,900
未収配当金	65,161,889
(B) 負債	311,175,893
未払金	311,175,200
未払利息	693
(C) 純資産総額(A-B)	50,338,630,252
元本	36,755,457,709
次期繰越損益金	13,583,172,543
(D) 受益権総口数	36,755,457,709口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,696円

<注記事項>

①期首元本額 38,645,751,116円
期中追加設定元本額 0円
期中一部解約元本額 1,890,293,407円
また、1口当たり純資産額は、期末13,696円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
次世代米国代表株マザーファンド 36,755,457,709円

○損益の状況 (2016年3月8日~2016年9月7日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	346,602,936 円
受取配当金	346,764,100
受取利息	1,538
支払利息	△ 162,702
(B) 有価証券売買損益	△ 2,113,609,355
売買益	4,332,404,917
売買損	△ 6,446,014,272
(C) 保管費用等	△ 2,697,192
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,769,703,611
(E) 前期繰越損益金	16,094,582,747
(F) 解約差損益金	△ 741,706,593
(G) 計(D+E+F)	13,583,172,543
次期繰越損益金(G)	13,583,172,543

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める(分散型に分類)ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2016年7月1日)